



なばり

2017年(平成29年) 11月25日発行

主な内容

- ①～③……平成28年度決算を検証
- ④……市職員の給与などの状況
- ⑤……パブリックコメント募集
- ⑥……市立病院職員募集
- ⑦……二次救急実施病院

発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp

一般会計歳入

267億 4,922万円

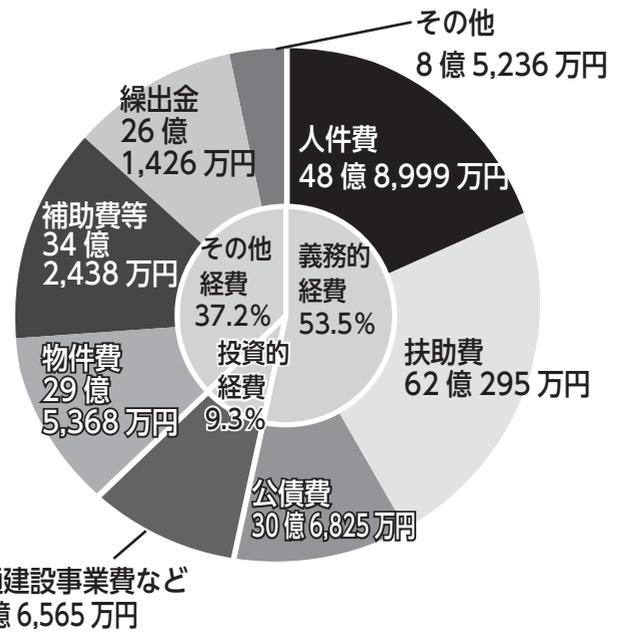
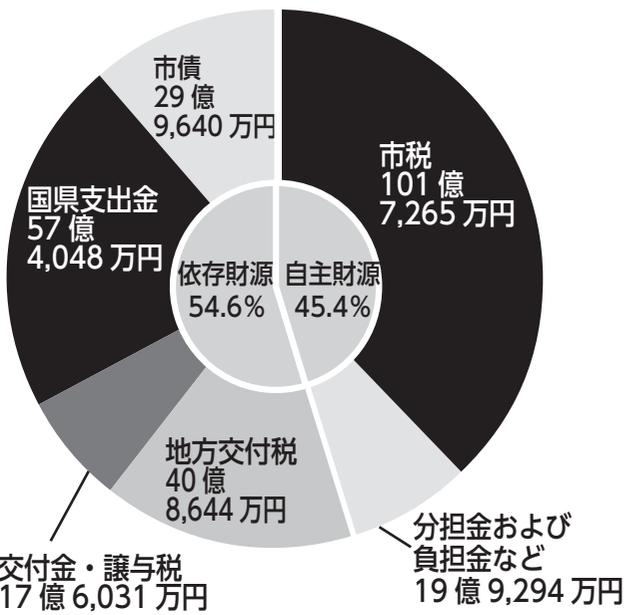
一般会計実質収支

2億6,870万円の黒字

歳入歳出差引額 翌年度繰越財源
(2億7,771万円-901万円)

一般会計歳出

264億 7,151万円



平成28年度 決算を検証

平成28年度一般会計、特別会計、企業会計の決算が、市議会9月定例会で認定されました。厳しい財政状況の中、名張躍進のために総合計画にある3つの重点戦略に基づいて事業を展開しながら、黒字決算とすることができました。今号では、平成28年度決算をお知らせし、市の財政状況を検証します。

財政局経営室 ☎63-7403

歳入決算額内訳

| 項目 | 28年度決算額 | 構成比 | 対前年比増減率 |
|--------------|-------------|-------|---------|
| 市税 | 101億7,265万円 | 38.0% | 7.9% |
| 分担金および負担金 | 3億572万円 | 1.1% | △19.5% |
| 使用料および手数料 | 2億1,049万円 | 0.8% | △5.9% |
| 諸収入・財産収入・寄附金 | 8億3,938万円 | 3.1% | 26.9% |
| 繰入金 | 3億2,672万円 | 1.2% | △69.0% |
| 繰越金 | 3億1,063万円 | 1.2% | △25.3% |
| 小計 | 121億6,559万円 | 45.4% | 0.1% |
| 地方交付税 | 40億8,644万円 | 15.3% | △0.8% |
| 交付金・譲与税 | 17億6,031万円 | 6.6% | △10.9% |
| 国県支出金 | 57億4,048万円 | 21.5% | △8.6% |
| 市債 | 29億9,640万円 | 11.2% | △33.9% |
| 小計 | 145億8,363万円 | 54.6% | △13.7% |
| 合計 | 267億4,922万円 | 100% | △8.0% |

検証1 一般会計歳入

歳入総額は、平成27年度に比べ、23億1,287万円の減となりました。

【自主財源】は652万円の微増。これは財政調整基金繰入金や、水道事業会計からの借入金をすべて減額しましたが、都市振興税を導入したことによる市税収入の増加の他、市民陸上競技場改修に伴うスポーツ振興くじ助成金や土地建物売却収入が増加したことが主な要因です。

【依存財源】は23億1,939万円の減。これは、小中学校耐震改修事業にかかる市債や学校施設環境改善補助金が減少したことが主な要因です。

検証2 一般会計歳出(性質別)

歳出総額は、平成27年度に比べ、22億7,995万円の減となりました。

主な増減としては、【投資的経費】で、昨年度と比べ19億5,212万円の減。主な理由は、民間保育所施設整備の補助金や小中学校耐震改修事業にかかる経費が減少したためです。【義務的経費】では、1億4,241万円の減となりました。これは、生活保護費などの扶助費が増加した一方で、人件費が2億21万円減少したためです。【その他の経費】では、補助費等で病院事業会計への繰出金の減などにより3億7,439万円の減となっています。

1～3ページで表記している金額は、表示単位未満を四捨五入してごます。そのため、合計が合わない場合があります。

2～3ページへ続く

平成28年度決算を検証

検証7 企業会計・特別会計の状況は？

企業会計…財政健全化法に基づく資金不足はなし

<病院事業会計>

平成28年度の入院患者数
59,311人
前年度と比較して1,441人増



平成28年度の延べ入院患者数は前年度より1,441人増加し59,311人。延べ外来患者数は前年度より741人減少し、84,766人となりました。

入院患者が増加したものの、診療単価の高い手術が減少したことなどから、医業収益は4,197万円の減となりましたが、医業費用で材料費などの抑制を図り、医業収支は前年度より約70万円改善しました。

この医業収支に、医業外収支及び特別損益を加えた平成28年度の決算は、4,987万円の純損失となりました。

| 区分 | 収入額 | 支出額 | 差引額 |
|-------|------------|------------|----------|
| 収益的収支 | 53億1,976万円 | 53億6,963万円 | ▲4,987万円 |

☎ 市立病院総務企画室 ☎ 61-1100

<水道事業会計>

平成28年度の年間配水量
1,015万³m
前年度と比較して0.5%増加



平成28年度は、老朽施設の更新や改良事業などを実施したほか、安全で安定した水の供給、災害に強い水道の整備に取り組みました。

収益的収入は、給水収益が前年度とほぼ変わらなかったものの他会計補助金が減となり、前年度より減収となりました。収益的支出は、人件費などの費用が減り、前年度より減少。平成28年度決算は、1億791万円の純利益となりました。

| 区分 | 収入額 | 支出額 | 差引額 |
|-------|------------|------------|---------|
| 収益的収支 | 17億7,316万円 | 16億6,525万円 | 1億791万円 |

☎ 上下水道部経営総務室 ☎ 63-4114

特別会計…全ての特別会計で黒字

<特別会計>

| 区分 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 実質収支額 |
|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 住宅新築資金等貸付事業 | 2,701万円 | 2,451万円 | 250万円 |
| 東山墓園造成事業 | 3,393万円 | 2,801万円 | 592万円 |
| 農業集落排水事業 | 8億2,159万円 | 7億9,469万円 | 2,418万円 |
| 公共下水道事業 | 23億561万円 | 21億8,876万円 | 3,697万円 |
| 国民健康保険 | 97億3,984万円 | 94億7,852万円 | 2億6,132万円 |
| 介護保険 | 64億626万円 | 62億3,989万円 | 1億6,637万円 |
| 後期高齢者医療 | 15億1588万円 | 15億499万円 | 1,089万円 |
| 国津財産区 | 19万円 | 12万円 | 7万円 |
| 合計 | 208億5,030万円 | 202億5,949万円 | 5億821万円 |

※実質収支額については、翌年度へ繰り越すべき財源を除いた額です。

検証3 市の預金(基金)残高は？

市の預金は2億7,265万円(財政調整基金)

市の預金である基金のうち、年度間の財源の不均衡を調整できる基金が、「財政調整基金」です。

平成28年度は、昨年度と比べ2億1,100万円増額することができました。将来的に安定した財政運営を進めるために、今後も計画的な基金の積立に努めます。

財政調整基金残高の推移

(単位：万円)

| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 年度末残高 | 1,358 | 59 | 59 | 6,159 | 27,265 |

検証4 市の借金(市債)残高は？

市の借金総額は548億1,098万円

各会計の市債残高を合計すると、548億1,098万円となり、前年度と比較すると5億9,230万円増加となりましたが、地方交付税を補う臨時財政対策債を除くと、市債残高は投資事業の抑制などにより減少しています。

各会計別の市債残高(平成28年度末)

【一般会計】347億9,280万円

【特別会計】住宅新築資金…1,765万円 農業集落排水…37億3,959万円

公共下水道…94億1,415万円

【企業会計】水道…13億6,511万円 病院…54億8,168万円

検証5 「経常収支比率」は99.7%と微増

財政構造にゆとりがありません

平成28年度の経常収支比率は99.7%となり、前年度と比べ1.1ポイント悪化しました。これは、経常的な一般財源である地方消費税交付金など自由に使える収入が減ったことが原因です。

今後も引き続き、事務事業の総点検や人件費の抑制、特別会計や企業会計に対する繰出金の抑制、自主財源の確保などに取り組み、比率の改善に努めていきます。

検証6 財政の健全度は？

早期健全化基準はクリアしました

実質公債費比率、将来負担比率は、いずれも早期健全化基準を下回っていますが、比較的高い数値となっています。これは、過去の都市基盤整備に係る地方債償還残高が高いことや、財政規模に対して財政調整基金などの基金残高が少ないことなどが要因です。

| 健全化判断比率 | 名張市 | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|---|--------------------|---------|--------|
| 実質公債費比率 借入金の返済額の大きさを財政規模に対する割合で表すもの | 15.7% (+0.2%) | 25.0% | 35.0% |
| 将来負担比率 現在抱えている負債の大きさを財政規模に対する割合で表すもの | 194.4% (+14.6%) | 350.0% | — |

※算定数値が無いものについては「—」を表示しています。

※()内は平成27年度比

平成28年度 重点事業と 取組の成果

平成28年度は、新たなまちづくりの基本指針である「新・理想郷プラン」に掲げる3つの重点戦略「元気創造プロジェクト」「若者定住促進プロジェクト」「生涯現役プロジェクト」を柱に事業展開を図りました。

また、市が過去のこれまで行ってきた施策・事業を振り返り必要な見直しを行う「行政評価」の取組を進めると同時に、市民の皆さんから市の施策について評価していただく市民意識調査の結果も今後の市政運営に活用しています。

☎ 総合企画政策室 ☎ 63-7389

☎ 財政経営室 ☎ 63-7403

元 元気創造プロジェクト ~人や企業から選ばれる活気に満ちたまち~

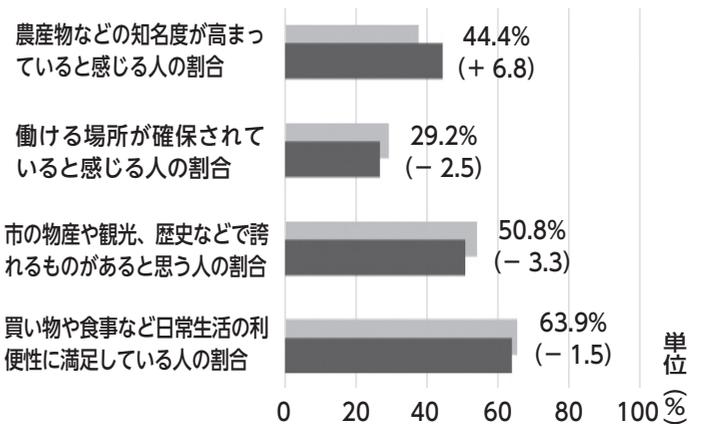
■ 主な事業内容

- 実践型地域雇用創造事業 1,600万円
起業する人や就農希望者に向けた人材育成等セミナーや就職説明会などを通じて75人の雇用を創出
- 観光戦略推進事業 1,000万円
学生が応募・提案する旅行企画コンテストなどを実施
- 地場産業振興事業 475万円
若者の起業・創業支援のための補助金を交付し2件が創業
- 隠の農産物を活用した起業・創業支援事業 2,143万円
「隠タカラモノ農産加工所」の整備、運営事業者の設立支援



市民意識調査の結果(抜粋)

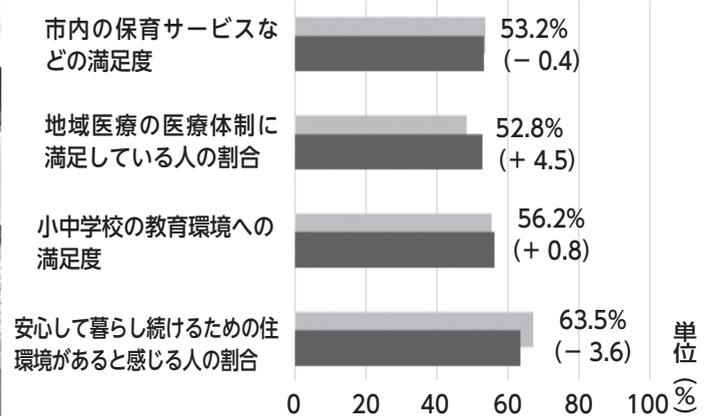
■ …平成28年度
■ …平成27年度
平成28年度の割合(前年度比)



若 若者定住促進プロジェクト ~愛着を抱き、いつまでも住み続けたいと感じるまち~

■ 主な事業内容

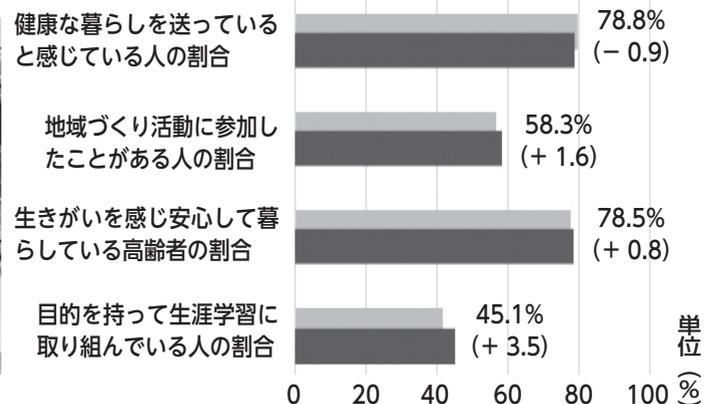
- 地域型保育事業(家庭的保育・小規模保育・事業所内保育) 1億4,927万円
待機児童対策として、64人の保育の受け皿を拡大
- 子ども医療費助成拡大事業 1,396万円
- 名張版ネウボラ事業 254万円
産婦乳腺炎予防ケア、おっぱい相談など、産後ケアの取組
- 空家リノベーション支援事業 146万円
県外からの移住者に対する中古住宅改修費補助により3人が移住
- 小中一貫教育推進・コミュニティスクール導入等促進事業 172万円



生 生涯現役プロジェクト ~いつまでも健康で生きがいをもって地域社会の担い手として活躍できるまち~

■ 主な事業内容

- 市民陸上競技場改修事業 4億2,501万円
- ゆめづくり地域交付金事業、地域ビジョン推進事業 1億1,872万円
- がん対策事業、生活習慣病予防重点プロジェクト事業 1億956万円
がん検診の実施、三重大学との協働での市民公開講座の開催
- 地域福祉教育総合支援システム構築事業 249万円
複合的な生活課題にワンストップで対応するための体制を構築



平成28年度の決算総括

平成28年度は、事務事業の見直しや経常経費の更なる削減を行う一方で、「元気創造」「若者定住促進」「生涯現役」の3つの重点プロジェクトに係る予算をしっかりと確保し、めりはりのある予算措置を行いました。

また、平成28年度から導入した都市振興税の収入は約8億5千万円となり、市立病院の充実、空き家対策、子ども医療費助成拡大など、暮らしのまち名張として躍進するための取組に活用させていただいています。

しかし、急激な高齢化による社会保障関係費の増大や老朽化が進む公共施設の維持改修・更新、下水道事業の進捗に伴う経費の増加、市立病院の経営健全化に向けた対応など財政運営上の課題は山積しています。

財政基盤の回復には今しばらく時間を要するものと考えられますが、持続可能な財政運営の確立に向け、さらなる行財政改革に取り組んでまいります。

市民意識調査の概要

調査時期：平成29年4月～5月
調査対象：満18歳以上の男女
調査方法：郵送によるアンケート
調査数：2,030人
調査地域：市内全域

※行政評価の取組、市民意識調査結果は市のホームページに掲載しています。